

Factors in TV-ads techniques for improvement of viewer recollection

吉田, 博則
九州大学芸術工学府デザインストラテジー専攻博士後期課程

<https://doi.org/10.15017/20278>

出版情報 : 九州大学, 2010, 博士 (芸術工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

謝辞

本論文を作成するにあたって、多くの方々にお世話になりました。

指導教官であり主査の九州大学大学院芸術工学研究院教授 脇山真治先生に、研究の進め方や研究者の心構えなど詳細にわたってご指導頂きました。TV-CMの実務経験から得た問題意識をどのように研究に結びつけるかについて、ご教示をありがとうございました。

副査をして頂きました九州大学大学院芸術工学研究院教授 佐藤優先生、京都精華大学教授 伊奈新祐先生には、本論文の方向性や構成と表現について多くのアドバイスをいただきました。心理学の実験手法に関して、九州大学大学院芸術工学研究院 伊藤裕之先生、九州大学大学院人間環境学研究院 光藤宏行先生の協力を得ました。ここに記して感謝致します。

TV-CMの現状について取材に応じて頂いた広告業界の皆様、記憶の研究について御教示して頂いた先生方、快く実験に参加して頂いた九州大学芸術工学部の学生の皆様、そして研究を支えてくれた妻、彰子に、感謝の意を表します。
